

各 位

平成 18 年 4 月 24 日

エプソン・ヨコム株式会社
代表取締役社長 加々美 健雄
(コード番号 6708 東証第 1 部)

お問い合わせ先 経営管理部
TEL 042 - 581 - 1707

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 1 月 26 日に公表した平成 18 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 1 月 26 日発表)	43,000	6,500	3,000
今回修正予想 (B)	43,071	7,469	4,005
増減額 (B - A)	71	969	1,005
増減率	0.2	14.9	33.5
前期 (平成 17 年 3 月) 実績	53,695	1,699	294

(注) 当社は平成 17 年 10 月 1 日をもって、当社を承継会社、セイコーエプソン株式会社 (以下エプソン) を分割会社とする分社型吸収分割により両社の水晶事業を統合いたしました。事業統合に際し、当社はエプソンに普通株式 99,000,000 株および種類株式 20,000,000 株を割当交付し、当社はエプソンの連結子会社となりました。

当社は平成 18 年 3 月期の連結財務諸表の作成にあたり、平成 17 年 12 月 27 日に公表されました「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第 10 号) に準じた会計処理を適用しました。

具体的にはエプソンの水晶事業を取得企業、当社 (旧東洋通信機株式会社) を被取得企業としたパーチェス法により連結財務諸表を作成しております。

取得企業であるエプソンの水晶事業は、平成 17 年 10 月 1 日設立の新設会社と同様に位置づけられるため、平成 18 年 3 月期の業績は平成 17 年 10 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日の 6 か月間の業績となっております。

2. 修正の理由

売上高はほぼ予想通りとなる見込みであります。コスト改善の成果や業務の効率化の効果が上がっていることから、経常利益、当期純利益が増加いたします。

以上のことから連結の業績予想を修正いたします。

以上